

【聖書】詩篇 23 篇

【説教題】主は私の羊飼い

【主題】主は私をどのように大切にしているのか

【本論】

I. どんなに苦しい中でも、恐ろしい中でも、迷える中でも、主は羊飼いとして私を養い、休ませ、人のゆくべき道を歩ませ、悪から守り、平安と喜びを与えてくださる。だから「私は、乏しいことはありません」と告白できる (23:1-5)

①体と心を満たし休息に導く (23:2)

②本来歩むべき道へ導き戻す (23:3)

③誰もが恐れる状況でも安心と勇気を与える (23:4)

④心身を苦しめる中であつてもあふれるばかりの喜びを与える (23:5)

II. 主は常に私を見ていてくださり、決して見放さず見捨てず、最善を尽くしてくださっている。だから「私は、いつまでも、主の家に住まいましょう」と宣言できる (23:6)

【適用】「私は羊のような存在である」このことを知って認めるとき、私たちはダビデのように主をほめたたえる